

これまでの議論を受けて平成24年度当初予算案に掲げる施策

**1 幼児教育現場からのアプローチ**

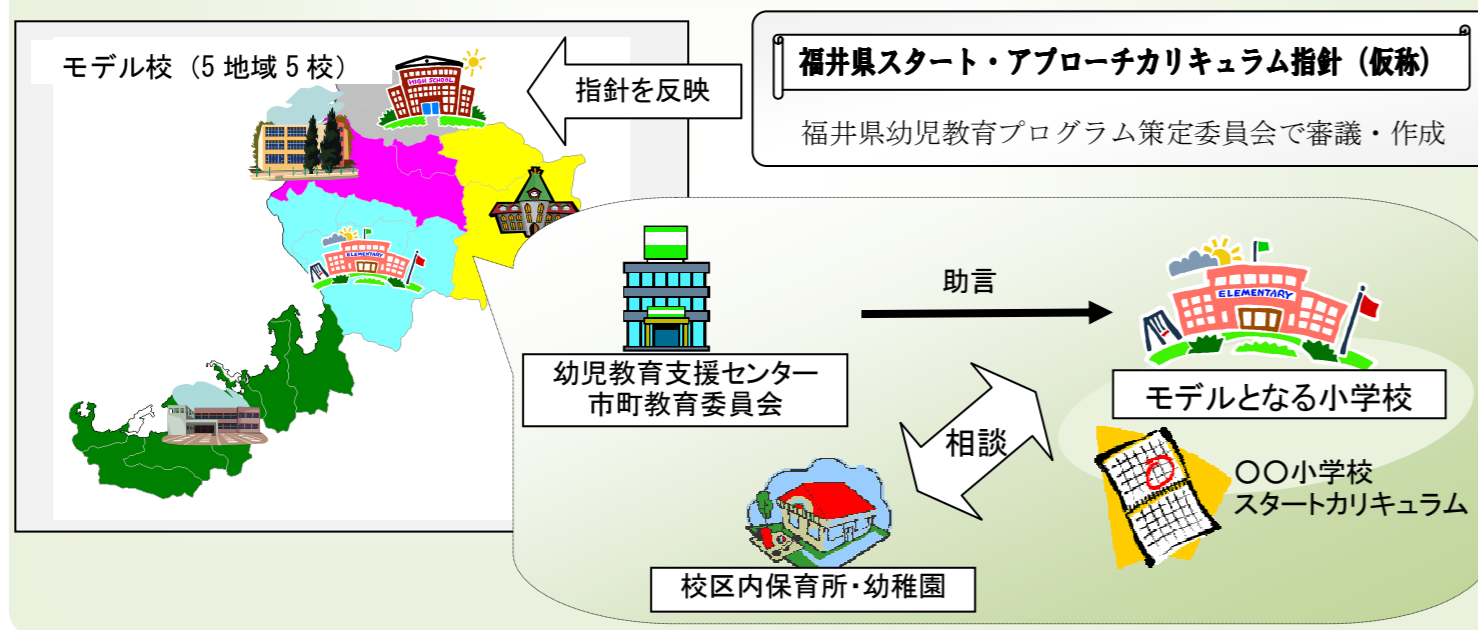
① スタート・アプローチカリキュラムの作成 [3,526千円]

○ 県指針の作成

県は、統一的な保幼小連携が円滑に進むよう、基本的な考え方や方針などを内容とする「福井県保幼小連携のためのスタート・アプローチカリキュラム指針（仮称）」を作成

○ スタートカリキュラムのモデル作成支援

保育所・幼稚園から園児を受け入れる小学校が、地域の実情等を踏まえ、主体的に調整・実施していくことができるよう、モデル校において実証を進め、その成果を県下全域へと広げていく。



② 幼児教育キャリアアップシステム（仮称）の創設 [137千円]

福井県幼児教育力向上会議（仮称）…保育所・幼稚園など県内の幼児教育力を結集し、幼児教育のさらなる向上を目指す。

<内 容>

- それぞれの団体が実施する研修への相互乗入れや合同開催
- 統一的な人材育成や体系的な新研修システム構築
- 研修に参加する教職員同士の意見交換、交流の場としても有効であることから、いわゆる“気になる子”の対処方法や先進事例の情報共有など保幼小連携の場としても期待

③ 幼児教育相談員の配置

公私立、保育所・幼稚園それぞれの垣根を超えて優良事例や課題の共有を進めるパイプ役

<内容>

- 保育士と幼稚園教諭、保育所と幼稚園の交流、連携（保育所・幼稚園を巡回訪問）
- 園からの要請に応じて、園内研修講師として派遣



幼児教育相談員

**2 幼児自身のつながりの力を育む支援策**

① 幼児にとって楽しい保育所・幼稚園づくり「ゼロチキ」 ② 童謡・唱歌を通して、ふるさと 福井を [6,365千円]

★園庭での楽しい遊びとおいしい給食づくり

- 保育所・幼稚園等への遊びコーディネーター（仮称）を紹介・派遣
- 栄養士・調理師を対象としたおいしい給食メニューの事例紹介や調理研修の開催

保育所・幼稚園等や家庭で、日本の古くから語り継がれた童謡・唱歌に触れる機会づくりを支援



本県出身 加古里子氏との連携事業

③ 伝承遊びを今の幼児に [576千円]

加古里子氏の伝承遊びの成果を、本県の幼児教育の中で活用する手法について検討を開始

- 保育士・幼稚園教諭を中心とする研究サークルを設置
- 本県の幼児教育の中で活用できる伝承遊びやその活用手法について加古氏のアドバイスを受けながら、調査・研究に着手

④ 興味・関心を引き出す加古里子絵本セレクション「ゼロチキ」

本県出身・加古里子氏の協力を得て、幼児教育へのゲートウェイとなる絵本を紹介

<絵本セレクション>

県内の図書館や保育所・幼稚園を通して保護者に広く周知



加古先生 応援メッセージ

**3 家庭・地域へ広げる幼児教育**

① 親力アドバンスコース事業 [3,000千円]

- 保護者は、一日園で我が子と過ごすこと（一日保育体験）で、教職員の子どもたちへの関わり方や教育の様子を間近に見て家庭での育児に反映
- 年齢に応じた子どもたちの成長を実感することで、子どもの個性や発達段階での育児に対する不安や悩みを解消



読み聞かせする保護者

② 家庭教育支援センターの設置 [2,192千円]

絵本や遊具をはじめとした知育、保育など様々な分野の先端教育を紹介し、これに触れ、体験できる場の設置

<内 容>

- 幼児教育に資する絵本やおもちゃなどの紹介を通して、幼児の興味・関心を引出し、保護者の親力の向上と幼児の健全な発達を支援
- 家庭教育や育児等の指導・相談場所として、保育所や幼稚園と連携しながら、保護者の悩みの解決を支援